

会 見 年 月 日	令和4年3月23日（水）
担 当 課	市長公室企画政策課
問い合わせ先	電話：0791-43-6867 （内線：2453） FAX：0791-43-6822 （担当者名：玉木、庵原）

ル・ポン国際音楽祭 2021 赤穂・姫路 ベルリン特別公演
オンラインコンサート報告書について（お知らせ）

『ル・ポン国際音楽祭 2021 赤穂・姫路 ベルリン特別公演 オンラインコンサート』の報告書を作成したので、お知らせします。

ル・ポン国際音楽祭 2021

赤穂・姫路

ベルリン特別公演

オンラインコンサート

報告書





目 次



樫本大進音楽監督からのメッセージ	1
オンラインコンサート実施結果	2
曲目解説	6
インターミッション中の動画	13
PR 活動	14
視聴者コメント	15
音楽祭の概要	16
組織	17



榎本大進音楽監督からのメッセージ

昨年 2020 年のル・ポン国際音楽祭を中止しなければならなかったことは、私にとって非常に辛く残念な経験でした。

今年 2021 年も入国規制により、播磨地方に美しい室内楽をお届けすることが再び叶わないという事実は、受け入れ難いものでした。



しかし、残念なことに、日本への入国規制は依然として厳しく、私たち音楽家が日本に入国する際にも多くの支障があるため、今年も例年通りのル・ポンを実施することができませんでした。ただありがたいことに、今年ル・ポンに参加を予定していた、また過去に参加したことのある音楽家の多くが、忙しいスケジュールの合間を縫って、ベルリンのフィルハーモニーから生中継される特別なオンラインコンサートに参加してくれることになりました。音楽家の友人たちが、このようにこの音楽祭に愛情を注いでくれていることは、私にとって宝物のようなもので、とても感謝しています。

もちろん、私の目標は、音楽祭の故郷である赤穂、姫路に戻り、特別に準備された会場でコンサートを行い、聴衆、演奏家、ボランティア、その他全ての関係者とともに、美しい音楽、エキサイティングな時間、そして独特の心温まる雰囲気と共有することです。私たち音楽家には、お互いの関係や音楽だけでなく、生のコンサートでしか得られない聴衆との交流や感動が必要なのです。これが私たちの生命線です。ここに向かって舵を切る必要があります。

今回は、デジタルでのお届けに限らせていただきますが、私たち演奏家は、美しい赤穂城跡や姫路城の豪華な庭園、印象的な書写山圓教寺などで、お客様を目の前にして演奏しているような気持ちで臨みます。また、素晴らしいホールのベルリン・フィルハーモニーも、このイベントに特別な雰囲気をもたらし、新たなインスピレーションが得られるのではないのでしょうか。

来年 2022 年には、赤穂、姫路で開催されるル・ポン国際音楽祭で再びお会いできることを楽しみにしています！

榎本 大進

ル・ポン国際音楽祭 赤穂・姫路 音楽監督

ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団 第1 コンサートマスター

オンラインコンサート実施結果

日時：《ライブ配信》

2021年（令和3年）12月13日（月）日本時間午後8時から午後10時まで
（ドイツ時間正午から午後2時）

《見逃し配信》

2021年（令和3年）12月14日（火）午前0時から
2022年（令和4年）1月12日（水）午後12時まで

場所：フィルハーモニー・ベルリン 大ホール

参加アーティスト：榎本大進氏のほか、音楽祭の趣旨に賛同する演奏家11名が参加
（当初出演を予定していた五明 カレン氏は、体調不良のため不参加）

ヴァイオリン	榎本 大進 ノア・ベンディックス＝バルグリー
ヴィオラ	ギャレス・ルベ アミハイ・グロス
チェロ	クラウディオ・ボルケス ユリアン・シュテッケル
コントラバス	マシュー・マクドナルド
クラリネット	ヴェンツェル・フックス
フルート	エマニュエル・パユ
ホルン	シュテファン・ドール
ピアノ	エリック・ル・サーージュ

Le Pont International Music Festival 2021 Aiko & Himeji
ル・ポン国際音楽祭2021赤穂・姫路
ベルリン特別公演 オンラインコンサート
令和3年12月13日(月) ライブ配信
2021年12月14日(火) 見逃し配信(100%)
フィルハーモニー・ベルリン 大ホールよりライブ配信

出演者
榎本大進、ノア・ベンディックス＝バルグリー、ギャレス・ルベ、アミハイ・グロス、クラウディオ・ボルケス、ユリアン・シュテッケル、マシュー・マクドナルド、ヴェンツェル・フックス、エマニュエル・パユ、シュテファン・ドール、エリック・ル・サーージュ

視聴方法
ル・ポン国際音楽祭公式ホームページにて「無料」でご視聴いただけます。
配信期間：12月14日(火)から12月15日(水)まで配信いたします。
<https://www.imf-le-pont.jp>

榎本大進音楽監督からのメッセージ

榎本大進音楽監督は、特別に準備された録音セッションを行い、録音、演奏家、サウンドエンジニアの協力を得て、最高の音質を実現しました。この録音セッションは、音楽祭の趣旨に賛同する演奏家11名が参加し、素晴らしい演奏を届けることができました。この録音セッションは、音楽祭の趣旨に賛同する演奏家11名が参加し、素晴らしい演奏を届けることができました。

プログラム
W.A. モーツァルト：オボエと弦楽隊のための交響曲第40番 K.407
L. ヴェーバー：ピアノとヴァイオリンのための交響曲第1番
J.S. バッハ：ヴァイオリンとチェロのための二重奏曲第1番
M. モーツァルト：ピアノとヴァイオリンのための二重奏曲第1番
L. ヴェーバー：ピアノとヴァイオリンのための二重奏曲第1番

ル・ポン (Le Pont) とは
「ル・ポン (Le Pont)」とは、フランス語で「橋」を意味し、音楽祭の趣旨に賛同する演奏家11名が参加し、素晴らしい演奏を届けることができました。

プログラム :

ウォルフガング・アマデウス・モーツァルト：ホルン五重奏曲 変ホ長調 KV407
W. A. Mozart : Horn Quintet in E flat major KV407

- 第1楽章 アレグロ
- 第2楽章 アンダンテ
- 第3楽章 ロンド・アレグロ

(ホルン) シュテファン・ドール
(ヴァイオリン) ノア・ベンディックス＝バルグリー
(ヴィオラ) ギャレス・ルベ アミハイ・グロス
(チェロ) クラウディオ・ボルケス

過去の演奏歴：

2008年10月19日 手柄山（姫路）
2012年10月7日 パルナソスホール
2017年10月7日 ハーモニーホール
2018年10月14日 パルナソスホール

ミヒャエル・ハイドン：ディヴェルティメント ハ長調 MH27

Michael Haydn : Divertimento in C major MH27

- 第1楽章 アレグロ・モデラート
- 第2楽章 アダージョ
- 第3楽章 メヌエット
- 第4楽章 プレスト

(ヴァイオリン) 榎本 大進
(チェロ) ユリアン・シュテッケル
(コントラバス) マシュー・マクドナルド

過去の演奏歴：

2015年10月24日 赤穂城跡

ハインリヒ・ホフマン：フルートと弦のためのセレナード Op. 65

Heinrich Hofmann : Serenade Op. 65

- 第1楽章 アレグロ・コン・ブリオ
- 第2楽章 アンダンテ・トランクイロ
- 第3楽章 アレグロ・ヴィヴァーチェ
- 第4楽章 アレグロ・ヴィーヴォ

(フルート) エマニュエル・パユ
(ヴァイオリン) 榎本 大進 ノア・ベンディックス＝バルグリー
(ヴィオラ) アミハイ・グロス
(チェロ) クラウディオ・ボルケス
(コントラバス) マシュー・マクドナルド

過去の演奏歴：

2016年10月15日 書写山圓教寺

休憩 (約10分)

カミーユ・サン＝サーンス：タランテラ Op. 6

Camille Saint-Saens : Tarantelle Op. 6

(フルート) エマニュエル・パユ
(クラリネット) ヴェンツェル・フックス
(ピアノ) エリック・ル・サージュ

過去の演奏歴：
初演奏

ニーノ・ロータ：フルート、ヴァイオリン、ピアノのための三重奏曲

Nino Rota : Trio for Flute, Violin and Piano

第1楽章 アレグロ・マ・ノン・トロッポ
第2楽章 アンダンテ・ソステヌート
第3楽章 アレグロ・ヴィヴァーチェ・コン・スピリト

(フルート) エマニュエル・パユ
(ヴァイオリン) 樫本 大進
(ピアノ) エリック・ル・サージュ

過去の演奏歴：
2016年10月14日 パルナソスホール

エルネー・ドホナーニ：六重奏曲 ハ長調 Op. 37

Dohnányi Ernő : Sextet in C major Op.37

第1楽章 アレグロ・アパッショナート
第2楽章 間奏曲 アダージョ
第3楽章 アレグロ・コン・センチメント
第4楽章 フィナーレ アレグロ・ヴィヴァーチェ、ジョコーソ

(ヴァイオリン) ノア・ベンディックス＝バルグリー
(ヴィオラ) ギャレス・ルベ
(チェロ) ユリアン・シュテッケル
(ホルン) シュテファン・ドール
(クラリネット) ヴェンツェル・フックス
(ピアノ) エリック・ル・サージュ

過去の演奏歴：
2008年10月22日 パルナソスホール
2013年10月12日 パルナソスホール
2014年10月14日 ハーモニーホール



配信アクセス数 :

12/13 (月)	2,307	1/1 (土)	110
12/14 (火)	1,247	1/2 (日)	125
12/15 (水)	594	1/3 (月)	126
12/16 (木)	407	1/4 (火)	126
12/17 (金)	295	1/5 (水)	107
12/18 (土)	268	1/6 (木)	96
12/19 (日)	247	1/7 (金)	97
12/20 (月)	156	1/8 (土)	105
12/21 (火)	153	1/9 (日)	118
12/22 (水)	156	1/10 (月)	346
12/23 (木)	142	1/11 (火)	283
12/24 (金)	140	1/12 (水)	241
12/25 (土)	118	合計	8,862
12/26 (日)	122		
12/27 (月)	94		
12/28 (火)	143		
12/29 (水)	161		
12/30 (木)	112		
12/31 (金)	120		



《ライブ配信》 2021年(令和3年)12月13日(月)

ユニークユーザー数 2,307件 合計視聴時間 266,814分

平均視聴時間: 115.6分(合計視聴時間をユニークユーザー数で除算したもの)

《見逃し配信》 2021年(令和3年)12月14日(火)~2022年(令和4年)1月12日(水)

ユニークユーザー数 6,555件 合計視聴時間 340,298分

平均視聴時間: 51.9分(合計視聴時間をユニークユーザー数で除算したもの)

《オンラインコンサート配信全体》

ユニークユーザー数 8,862件 合計視聴時間 607,112分

平均視聴時間: 68.5分(合計視聴時間をユニークユーザー数で除算したもの)

※ユニークユーザー数・・・1日につき映像の視聴が何件あったかを集計する指標で、同じ日に同じ情報端末(PC・スマホ等)で映像を何度視聴しても「1件」として集計します。

曲目解説

「ル・ポン国際音楽祭 2021」はみんなが特等席！

コロナ禍における日本への厳しい入国規制により、約2年にわたり、外国からの演奏家の演奏を生で聴ける機会が激減している中、赤穂・姫路で行われるこの音楽祭を心待ちにしていたすべての人々の楽しみも2年続けてお預けになっています。

そんな中、音楽監督榎本大進さんの強い思いにより、オンラインコンサートという新しい形で「ル・ポン国際音楽祭 2021」が実現することになり、予期せぬ嬉しいクリスマスプレゼントとなりました。

「ル・ポン国際音楽祭」は、榎本大進さんご自身がヨーロッパで経験してきた、演奏家の出身地やゆかりの地で開かれている、気軽で演奏者と聴衆との距離の近い、市民による手づくりの音楽祭を、日本でも開催したいとの思いから、2007年にスタートした音楽祭です。榎本氏にゆかりのある赤穂・姫路の人々の協力により、毎年10月に開催され、年々音楽祭も聴衆も進化し続けています。

地元の素晴らしいホールをはじめ、映画「ラストサムライ」で知られた「書写山圓教寺」、日本が世界に誇る国宝であり世界遺産の「姫路城」など、特別な場所で特別な雰囲気の中、演奏が聴けるのも魅力です。

音楽監督をはじめとするアーティスト、ボランティア、関わる全ての皆さんと聴衆のたくさんの愛が溢れたその温かな雰囲気もリピートしたくなる魅力の一つとなっています。

今年は逆に、いつもは海の向こうから参加して下さっているアーティストの皆さんが慣れ親しんだ、しかも世界最高のホールの一つ、ベルリン・フィルハーモニーから、音楽祭が届けられます。

ベルリン・フィルハーモニーは、コロナ禍とは関係なく、いち早くライブ配信に取り組み始めたオーケストラでもあり、世界で最も優れたクラシックのライブ配信の経験とシステムを持ち合わせています。そんな最高の環境からの贈り物です。

毎年、世界最高の演奏家達が集う「ル・ポン国際音楽祭」は、室内楽の魅力にあふれています。録音されたことのない珍しい室内楽の日本初演に出会えたり、聴いたことのある室内楽曲においても、これまでの最高の演奏に遭遇し、作品の新たな魅力に気づけたり、室内楽にそれほど興味のなかった人も一度参加すると室内楽の虜になってしまいます。近年、チケットはほぼ即日完売してしまうため、参加できずにいた方も多くいらっしゃると思います。そして、これまで足を運びたくても運べなかった日本そして世界中のすべての音楽ファンに開かれたこのチャンスをどうぞお聴き逃がしなく！なんととっても無料ですから、これまで室内楽のコンサートに行ったことのない方から、室内楽マニアまで、すべての人に開かれた室内楽への入口です。

あらためて、「オンラインコンサートはみんなが特等席！」。

演奏のみならず、奏者たちが呼吸をあわせる姿、リーダーがメンバーに送る視線、リーダーを見つめるメンバーの表情、作曲家の思いが一つ一つの楽器に凝縮された室内楽だからこそその奏者のコミュニケーションを間近で見られるのも、オンラインコンサートの醍醐味です。見逃し配信もたっぷり約1か月間予定されています。

ぜひ何度も心行くまでお楽しみください！

音楽プロデューサー 児玉 洋子



<1 曲目>

ウォルフガング・アマデウス・モーツァルト：ホルン五重奏曲 変ホ長調 KV407

「ル・ポン国際音楽祭」初のライブ配信はベルリンから優雅なホルンの響きで幕開けです！

『ホルン五重奏曲 KV407』は、ザルツブルク宮廷ホルン奏者ロイトゲープのためにモーツァルト(1756-1791)が書いた最初の曲。モーツァルトのホルン作品はわずか6曲ですが、その他のすべての曲(4つのホルン協奏曲とホルンのための協奏曲ロンド)も彼のために作曲しています。ザルツブルク時代からの友人であり、同時期にウィーンに移り住み、モーツァルトのパトロンでもあった彼がいたからこそ、ホルンの名曲が生まれました。冗談も言いあうほどの親しい間柄で、ホルン協奏曲の自筆譜にはロイトゲープに宛てたふざけた書き込みも見られます。モーツァルトのホルン作品が明るさに満ちているのは、そんなロイトゲープとの関係性によるものという説もあります。

この五重奏曲の弦セクションは、ヴィオラを2艇にし、低音域に重心を置くことで、ホルンがより温かく馴染み、自由に表現しやすい領域を作り出しています。そして、1艇となったヴァイオリンは、高音域でより際立った存在感を放ちます。第1楽章は、ホルンとヴァイオリンの掛け合いが特徴的で、優雅で楽しく潑刺としています。第2楽章は、ホルンの柔らかな温かい音色が生きる、甘く優しい音楽です。第3楽章は、茶目っ気溢れる優雅なロンドです。



＜2 曲目＞

ミヒャエル・ハイドン：ディヴェルティメント ハ長調 MH27

続いて、モーツァルトが常にお手本にしていたとも言われる知られざる名作曲家ミヒャエル・ハイドン(1737-1806)の作品です。有名なヨーゼフ・ハイドンの5つ下の弟です。ウィーンから約35キロ離れたローラウという村で生まれましたが、兄ヨーゼフと同様、ウィーンの聖シュテファン教会の聖歌隊でオルガン、ピアノ、ヴァイオリンを学びました。兄ヨーゼフよりも美しいソプラノボイスを持っていたそうです。1763年にはザルツブルク大司教の楽団コンサートマスターになり、81年にはモーツァルトの後任としてザルツブルク大聖堂のオルガニストとなりました。ミヒャエル・ハイドンも兄と同様多作な人で、約50曲の交響曲のほか、多くの協奏曲、約30曲のディヴェルティメントを含む室内楽を作曲したとされています。しかし、彼の作品は生前に整理されることはなく、死後1808年以降に複数の人たちによって整理されてきました。この曲の作曲年も定かではなく、1758～60年、1764～70年の間とされる二つの説があります。この曲の楽譜の追記には、“ミヒャエル・ハイドンの楽譜は当時手書きのものが使用され、印刷されることがありませんでした。しかし、この曲の楽譜の写しだけは、ミュンヘンの州立図書館に残されていました。おそらくこの楽譜の扉に明記されたP. W. R. というイニシャルを持つ友人により、コピーが残されたのでしょう”と書かれています。ミヒャエル・ハイドンを知ることのできる貴重な1曲です。

ディヴェルティメントとは、特にウィーンにおいて、この時代の多楽章の器楽曲に好んでつけられたタイトルですが、この曲は、有名な兄ハイドンが確立したと言われる18世紀の典型的なソナタスタイルで書かれています。第1楽章では、低音部のコントラバスの支えの上で、ヴァイオリンとチェロが優雅に対話します。第2楽章は、洗練された優美なアダージョ。第3楽章は、ヴァイオリンとチェロが同じ旋律を奏でるメヌエットで始まり、もの哀しくもエレガンスなトリオをはさんで、軽やかなピチカートメヌエットに戻り終結します。第4楽章は、当時の協奏交響曲風でリズムを刻み続けるコントラバスの上で、ヴァイオリンとチェロがほぼ同じ音もしくは3度違いの音程で同じフレーズを奏で、コンチェルトタンテ（18世紀の協奏交響曲）風にフィナーレを盛り上げます。



<3 曲目>

ハインリヒ・ホフマン：フルートと弦のためのセレナード Op. 65

続いてベルリンの作曲家、ハインリヒ・ホフマン（1842-1902）の登場です。『フルートと弦のためのセレナード Op. 65』、とても美しいセレナードです。ミヒャエル・ハイドンと同様に、ハインリヒ・ホフマンの名を聞いたことのある人も少ないことでしょう。ベルリンの貧しい職人の家庭に生まれましたが、非常に優れたボーイソプラノであったため、9歳の頃から聖歌隊で活躍し、パレストリーナ、バッハ、ヘンデルのスペシャリストとなり、その後オペラ合唱にも参加。その耳の良さから、ピアノも始めたとともにヴィルトゥオーゾに成長し、声変わりをした後は、ベルリンのピアニスト、テオドール・クラークの元で音楽教育を受けました。ピアニスト、ピアノ教師としてのキャリアを積む傍ら、作曲も始めます。1875年の作品、カンタータ「美しいメリュジーヌの物語 Op. 30」は、ドイツ、イギリス、アメリカで20年にわたり1500回演奏されるなど、その時代には良く知られた作曲家でした。彼はオーケストラや室内楽作品はあまり書かなかったため、この作品は非常に貴重です。ホフマンの音楽を尊敬していたニューヨーク・フィルハーモニック・クラブのフルート奏者ユージン・ウィーナや、ドイツ音楽を勉強していたアンサンブルから委嘱を受けて1885年に作曲。バラエティに富んだテンポと主題、そしてハンガリー音楽のスタイルで終わる、とても魅力的な作品です。

第1楽章は、チェロ、フルート、ヴァイオリンの順にテーマを歌い、6つの楽器がカノンのように、時にはトゥッティでリズムを刻み、さわやかに進んでいきます。第2楽章は、ほぼフルートがテーマを歌い、朝焼けのような静けさを感じさせます。第3楽章は、6拍子で音楽が旋回します。第4楽章は、ハンガリーのリズムと音色が現れ、終盤は、弦が厚くなり、まるでフルート協奏曲のようです。2016年のル・ポン国際音楽祭では、この曲は夕暮れ時、書写山圓教寺の境内で演奏され、境内の鳥たちもパユのフルートに呼応してさえずり、音楽に参加していました。屋外で聴ける演奏もこの音楽祭の従来の魅力の一つとなっています。



<4 曲目>

カミーユ・サン=サーンス：タランテラ Op. 6

「ル・ポン国際音楽祭」では初のお披露目となる作品です。サン=サーンス（1835-1921）と言えば「白鳥」というイメージが先行し、本来の姿より過小評価されがちですが、生前はモーツァルトの再来と言われ、2歳でピアノを弾き、3歳で作曲を始め、10歳で演奏会を開き、ロッシェーニ、ベルリオーズをはじめとする当時の音楽家たちにもその才能を評価された天才でした。ロッシェーニは、自身が主催する夜会の常連ピアニストとしてお気に入りのサン=サーンスを起用していましたが、この曲もその夜会で1857年にお披露目されました。ロッシェーニのオーダーにより、フルート奏者のルイス・ドルスとクラリネット奏者のアドルフ・ルロワのためにこの曲を書き、自身のピアノで初演しました。初演は高評価で、夜会を訪れた人々は、ロッシェーニの作品だと思いこんでいましたが、演奏後、ロッシェーニが「サン=サーンス」の作品であることを紹介し、その場にいた聴衆に若きサン=サーンスが絶賛されたというエピソードも残っています。

さて、タランテラとは、南イタリアの港町、タラントに生息する毒蜘蛛タランチュラが由来で、この毒蜘蛛に噛まれたら、毒抜きのために疲れ果てるほど踊りつづけなければならないという言い伝えから生まれた踊りです。踊り続ける様子を想像しながら聴くとよりエキサイティングです。淡々と飄々とタランテラのリズムを刻むピアノの上で、フルートとクラリネットがきまぐれに、エネルギーに休みなく最後まで絡み合います。ル・サーージュ、パユ、フックス氏のお互いを知り尽くした3人が挑発しあいながら盛り上げて楽しませてくれることは間違いありません！



<5 曲目>

ニーノ・ロータ：フルート、ヴァイオリン、ピアノのための三重奏曲

「道」「甘い生活」「ゴッドファーザー」等映画音楽で知られるニーノ・ロータ（1911-1979）ですが、ピアニストの父の元、幼少期から音楽を学び、8歳で作曲を始めた神童でした。1923年、12歳でミラノ音楽院へ入学、19歳でサンタ・チェチーリア音楽院の作曲を卒業、カーティス音楽院でも学び、若くして作曲の王道を極めます。1942年以降、映画音楽の作曲を始めましたが、基本的にはクラシック作品を書き続けた作曲家です。

この『三重奏曲』は、ロータの室内楽の中でも最も完成度が高いと言われている作品です。1958年、当時ローマで活躍していたクレム・トリオのために書かれました。第1楽章では、インテンポで持続するピアノ、そのうえで輝かしく舞うフルート、情熱的に激しくうなるヴァイオリンが、それぞれテクニカルに奏します。時折、アディエマスの「聖なる海の歌声」のサビを思い出させるアンビエントなフレーズが出てくるのが印象的です。第2楽章は、瞑想的な雰囲気の中で、フルートとヴァイオリンが絡み合いながらも各々のテーマを主張し、ピアノがそれらを支えまとめ進行していきます。はじけるような喜びに満ちた輝かしい第3楽章に突入すると、さらにそれぞれの楽器の名人芸が交錯し、エネルギッシュなまま完結します。この曲も、パユ、樫本、ル・サーージュ、3氏の熱演が楽しみです！



<6 曲目>

エルネー・ドホナーニ：六重奏曲 ハ長調 Op. 37

エルネー・ドホナーニ(1877-1960)は20世紀に活躍したハンガリーの作曲家。同郷のバルトークやコダーイと同世代ですが、民族性を積極的に取り入れた彼らとは一線を画し、あくまで、ブラームスの流れを組む後期ロマン派の作風をつらぬいた作曲家です。

1935年に作曲された『六重奏曲作品37』は、ピアノ四重奏にクラリネットとホルンが加わるという、大変珍しい編成で演奏されます。それだけに管楽器の響きがとても生きています。第1楽章は、各楽器の奏でる抒情的でもの哀しいテーマがエンディングまで交錯し続ける、激流のような音楽です。第2楽章は、静かに始まりますが、突然おどろおどろしいリズムミクな進行に変わり、少々不気味な感覚に襲われます。第3楽章は、ヴァリエーション。クラリネットで始まり、快活に流れるように進んでいきます。終盤に第1楽章冒頭のテーマが表れ、絶え間なく第4楽章に突入します。急にガーシュウインを思わせるようなジャズ風の音楽が始まり、ところどころにワルツが表れるのもこの楽章の楽しい聴きどころです。

本日の作品の中で最もスケールが大きく、ロマンティックで壮麗な弦と管のアンサンブルを、フィルハーモニーの響きを知り尽くした演奏家たちが、オンラインで私たちの心まで目いっぱい響かせて届けてくれることでしょうか。音楽に没入し無心になれる幸せなひと時を連れてきてくれるその時が楽しみでなりません！

終演後の一抹の寂しさは、12月14日から1月12日まで予定されている見逃し配信で晴らすことができるのも嬉しいプレゼントですね。



インターミッション中の動画

オンラインコンサートのインターミッション（休憩）で、ル・ポン国際音楽祭を知っていただくために、音楽祭の成り立ちや普段見ることができない舞台裏や懐かしい映像を配信しました。



PR 活動

媒体	内容
ちらし配布	【送付・配布】 <ul style="list-style-type: none"> ・ル・ポン国際音楽祭 過去の協賛・寄付者 ・ル・ポンアンケート回答者 ・箕面市立メイプルホール（大阪府箕面市） ・所沢市民文化センターミュージズ（埼玉県所沢市） ・王子ホール（東京都中央区銀座） ・浦安音楽ホール（千葉県浦安市） ・兵庫県立芸術文化センター（兵庫県西宮市）公演挟み込み （エマニュエル・パユ&バンジャマン・アラール デュオ・リサイタル） ・アクリエひめじ公演挟み込み （オペラ「千姫」、姫路交響楽団定期演奏会） <p style="text-align: right;">など</p>
ポスター掲示	<ul style="list-style-type: none"> ・赤穂市役所、ハーモニーホール ・姫路市役所、アクリエひめじ、パルナソスホール ・デジタルサイネージ（姫路市庁舎、観光案内所） <p style="text-align: right;">など</p>
プレスリリース	<ul style="list-style-type: none"> ・赤穂市 11月定例記者会見（11/17） ・姫路市 ニュースリリース記者資料提供（11/17） ・株式会社ジャパン・アーツ PR TIMES 掲載
新聞（記事）	<ul style="list-style-type: none"> ・赤穂民報 11/20、12/14 ・赤穂新聞 11/21、12/19 ・神戸新聞 12/4、12/9、12/20 ・朝日新聞 12/10
広報紙	<ul style="list-style-type: none"> ・広報あこう 12月号 ・広報ひめじ 12月号、1月号 ・すずかけ 1月号 ・リビング姫路 12月10日号
Web 関連	<ul style="list-style-type: none"> ・赤穂市 HP、LINE、Facebook ・姫路市 HP ・ル・ポン国際音楽祭 HP、Twitter、Facebook ・株式会社ジャパン・アーツ HP、Twitter



視聴者コメント : 公式 Twitter などの主なコメント

・コロナで去年も今年も中止でしたが、その代わりに今夜、ベルリンフィルのホールから特別公演オンラインコンサートを、無料ライブ配信で届けてくれましたにゃん🐱 素晴らしい音響の室内楽を、家で聴けて幸せでしたにゃ🎵🎹

・RT Bravissimo 🙌🙌🙌🙌🙌🙌 ありがとう〜😊 同じオケの室内楽アンサンブル🎻🎷🎹🎸 共有してるものが微に入り細に入り、さすがというよりない😊👉👈❤️ 確信に満ちた音楽は、その曲を知っているかはどうでもよくて、深く届くものですね。フルートのプログラムも良かった〜。ドホナーニ！！😊

・無観客のフィルハーモニー・ベルリン大ホール、拍手が無くて寂しかったけれど、素晴らしい音響、素晴らしい演奏でした。出演者の皆様、ありがとうございます。来年こそ赤穂・姫路でル・ポン国際音楽祭が開催できますように。見逃し配信があるので、また何回か聴きたいです。

・ル・ポン国際音楽祭のオンラインライブを閲覧中。観客がいないホールで、素晴らしい演奏を届けてくださっている。曲が終わっても拍手はない。なんか、寂しいけど、ブラボー！と画面に拍手を送ってます！ オンラインでもきれいな音〜。

・ル・ポン国際音楽祭、生で聴くために定時ダッシュした甲斐がありました！ 檜本さんありがとう〜😊姫路よりベルリンのが嬉しかったり…笑

・厳しい現状、制限のなか、#ル・ポン特別公演 を開催できる方法をズーっとお考え続けてくださっていた皆々様に感謝、感謝、大感謝です。ル・ポン国際音楽祭 2022 では拍手を届けたいです

・ベルリンフィルという素晴らしい舞台で最高の音楽家達の演奏が無料で聴けるなんて🌟 来年 1/12 までアーカイブで何度も観れるなんて、ほんと太っ腹、コロナも悪いことばかりではないかな。

・楽し過ぎました！会話をしているかのような自然なアンサンブル！画面を通して伝わってきました。期間中何回も観よっと。

・ル・ポン国際音楽祭 2021 赤穂姫路ベルリン特別公演オンラインコンサート🎵🎵🎵
メンバーの方々の最高のアンサンブル!!とても素晴らしい演奏会でしたね!!

音楽祭の概要



名 称	ル・ポン国際音楽祭 2021 赤穂・姫路 ベルリン特別公演 オンラインコンサート
音楽監督	樫本 大進
経 緯	赤穂市に縁がある世界的ヴァイオリン奏者樫本大進氏から、世界の実力派演奏家を「ふるさと赤穂」に招き、ヨーロッパで開かれているような市民手づくりの音楽祭を定期的に開催できないかとの提案を受け、2007年に同氏を音楽監督に迎え、同氏と親交のあるヨーロッパを中心に活躍中の演奏家を招いて赤穂国際音楽祭を開催した。2008年には姫路市で姫路国際音楽祭を開催、以後両市で隔年で開催し、2012年から共同開催。 2020年と2021年については、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、演奏家が来日して行う音楽祭は中止としたが、樫本大進音楽監督の「コロナ禍にあっても、一人でも多くの方々に音楽を届けたい」との思いを受け、2021年においては、ベルリン特別公演オンラインコンサートを開催し、ホームページにおいてライブ配信を実施。
主 催	赤穂国際音楽祭実行委員会／姫路国際音楽祭実行委員会
共 催	赤穂市／姫路市／赤穂市教育委員会／姫路市教育委員会 公益財団法人赤穂市文化とみどり財団／公益財団法人姫路市文化国際交流財団
協 力	ベルリン・フィルハーモニー財団／株式会社ジャパン・アーツ／大塚 敦



組 織

◆赤穂国際音楽祭

●実行委員会

会 長	牟礼 正稔	赤穂市長
副会長	尾上 慶昌	赤穂市教育長
	岡島 三郎	(公財)赤穂市文化とみどり財団理事 (芸術文化事業相談役)
委 員	渡瀬 康英	兵庫県西播磨県民局長
	家入 時治	赤穂市議会総務文教委員長
	大木 善夫	赤穂商工会議所会頭
	梅本 邦夫	(一社)赤穂観光協会事務局長
	篠原 昌三	赤穂市文化協会副会長
	宮本 邦夫	(特非)赤穂市国際交流協会理事長
	寒川 真吾	赤穂ライオンズクラブ第1副会長
	寺田 眞康	赤穂ロータリークラブ副会長
	井関 亮平	赤穂青年会議所理事長
	玉石 悦之	赤穂市PTA連合会副会長
	阿部 真子	関西福祉大学教育学部講師
	大塚 さえ子	ハーモニーヴァイオリンアンサンブル教室講師
	小林 かずみ	赤穂市文化会館チーフプロデューサー
	小林 洋介	赤穂経営者協会会長
	中村 隆彦	(一社)赤穂市医師会会長
	赤井 高之	(一社)相生・赤穂市郡歯科医師会副会長・赤穂支部長
監 事	小田 正勝	赤穂商工会議所専務理事
	古森 智恵美	(元)赤穂市会計管理者
顧 問	豆田 正明	(公財)赤穂市文化とみどり財団理事長

●企画運営委員会

委員長	藤本 大祐	赤穂市副市長
副委員長	岡島 三郎	(公財)赤穂市文化とみどり財団理事 (芸術文化事業相談役)
委 員	大塚 さえ子	ハーモニーヴァイオリンアンサンブル教室講師
	山脇 洋子	ハーモニーヴァイオリンアンサンブル教室講師
	村田 尚美	ピアノ講師
	安部 智子	赤穂市児童合唱団副団長
	古城 資久	(医)伯鳳会理事長
	横山 博好	ハーモニー合唱団実行委員
	古瀬 徳雄	関西福祉大学名誉教授
	福永 理人	姫路国際音楽祭実行委員会事務局(姫路市文化国際課長)
	村上 貴志	姫路国際音楽祭実行委員会事務局(姫路市文化国際係長)
	浮田 正人	姫路国際音楽祭実行委員会事務局((公財)姫路市文化国際交流財団課長)
	野本 武男	姫路国際音楽祭実行委員会事務局((公財)姫路市文化国際交流財団係長)
	中田 登茂子	(公財)赤穂市文化とみどり財団評議員

◆姫路国際音楽祭

●実行委員会

名誉会長	清元 秀泰	姫路市長
会 長	佐野 直人	姫路市副市長
副会長	山崎 陽介	姫路市議会副議長
	村角 伸一	姫路商工会議所副会頭
	貞廣 始	(公財)姫路市文化国際交流財団副理事長
委 員	井上 太良	姫路市議会経済観光委員会委員長
	大久保 和代	兵庫県中播磨県民センター副センター長兼県民交流室長・危機管理員
	伊藤 恵介	姫路経営者協会専務理事
	中西 孝幸	(一社)姫路市医師会事務局長
	松本 秀之	(公社)姫路観光コンベンションビューロー専務理事
	峯野 仁志	姫路市教育委員会教育次長
	福田 陽介	姫路市観光スポーツ局長
監 事	澤田 千秋	姫路商工会議所女性会会長
	福岡 章代	姫路市会計管理者

●企画運営委員会

委員長	福田 陽介	姫路市観光スポーツ局長
副委員長	黒田 洋	姫路交響楽団常任指揮者
委 員	藤井 たみ子	姫路市ヴァイオリン教室講師
	多戸 章人	(公財)姫路市文化国際交流財団音楽プロデューサー
	萩原 稔浩	西播吹奏楽連盟副理事長
	田中 英男	(公財)姫路観光コンベンションビューロー事務局長
	玉木 哲也	赤穂市企画政策課長
	庵原 孝之	赤穂市企画政策課企画係長
	黒田 徹	姫路市教育委員会学校指導課管理指導主事
顧 問	河原 啓二	元姫路市医監

